

平成 29 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 29 年 10 月 25 日（水）

開会：午後 7 時 00 分 閉会：午後 8 時 12 分

場所：南大社研修センター

参加者：男 23 人、女 4 人 計 27 人（うち職員 10 人）

町職員：町長、副町長、建設部参事、上下水道課長、建設課長、政策課員

○懇談

男性（1） いなべ市ではそばを作っていますが東員町では上手くできないですか。

建設部参事 そば自体はできないことはないです。我々の悩みは、せっかく作ってもらっている大豆が、ほとんど収穫しないで終わっているということです。これはどういうことかという、国からの補助金をもらっているの、収穫しなくてもいいという安易な考え方が一部あるということです。しかしながら、いずれこの補助金はなくなるだろうと考えております。補助金がなくなる前に足腰の強い農業に転換していきたい。そのためにまず大豆に取り組んでいきたいと考えております。今現在毎年 150 h a で大豆を作っております。この 150 h a の大豆を生かしていくのがまず第一かと思っております。

男性（1） 大豆もほとんど営農さんに作ってもらっているが、営農さんもかなりの面積つくっている、あんまり手かけられないし、収穫も少ないわな。

建設部参事 確かにそのとおりです。その辺のところも新しい大豆の作り方も専門家に指導いただいて検討していこうと思っております。この地にあっていて収穫量のある付加価値のある大豆に変えていきたいと考えています。

町長 いなべ市のそばもここ何年かで有名になってきました。いなべ市のそば、東員町の大豆、こういった形で住み分けをしていきたいと思っております。いろいろなところへ行き、いろいろな情報を分析して、われわれは大豆をやろうと決めました。きちんと真面目にやれば必ず儲かりますのでご協力の程よろしく申し上げます。加工まで含めて特産品にしていきたいと思っております。

男性（2） 大豆を作るとして、具体的な展望みたいなものはあるんでしょうか。地産地消でやられると思うんですけど、加工場はどこにするとかそういったものは考えられているんでしょうか。

建設部参事 まず、現在四日市でやられている企業は、すでに国産の大豆で製品を作り、国内だ

けでなく海外にも進出をしています。特殊な技術を持っている企業で、その技術は日本でその会社だけが持っているものです。その技術を使って大豆を丸ごとパウダーにして、そのパウダーで色んな製品を作ります。その大豆を東員町の新品種の大豆でやった場合、当然付加価値が上がりますし、全国的にも売り出していきます。東員町で丸ごとこういったことを生産、加工、販売まで手がけていこうと考えています。

男性（２） ところでどういった風にとというのはまだ決まっていないのですか。東員町が新しい企業を立ち上げていく形になるんです。

建設部参事 今考えておりますのは、当然場所的な問題に関しては、町も協力していかなければなりません。何よりも東員町の農業者がその企業と一緒にやっていくシステムを構築しなければなりません。企業を立ち上げるのか、共同体でやっていくのか分かりませんが、企業に丸なげというのは考えておりません。農業者も経営の一員となってやっていただく方法を考えています。

町長 ようするに、企業誘致をして工場を建ててもらって、その時に現地法人を作ってもらってそこに農業者も入ってもらいます。今現在すでに大豆生産をやってもらっている人達に声をかけて一緒にやってもらいます。そこでの収入は農業者にも当然享受していただき、東員町でできた大豆を、東員町で加工して製品化する、そこまでもっていこうということです。

男性（２） その製品が売れるのかも心配ですが…。販売ルートとかはどうなんですか。

町長 出口を見据えた上でそれをやっていかないと、出口のないものを作ってもしょうがないので、販売ルートも企業のノウハウも使いながらやっていきます。現在企業と詰めている最中なので、あまり詳しくは話せなくて申し訳ありません。

男性（２） ５年後までにとか、時期的なものは決まっているんですか。

建設部参事 今年については、大豆はもう収穫するだけになっているので、来年の大豆の豆まきから新しい品種に変えていこうと考えていますが、どれだけ変えられるかは農業者の協力次第ですので、そこはこれから詰めていきます。今年の分については東員町で取れた大豆として少しだけ商品化して、これから売っていこうとするところへ持ち込みます。そこで反応を見るという形になります。町内の方にも買っていただきたいので、イオンや町内スーパーあたりで宣伝、販売する計画でおります。

男性（３） 水道の話ですが、３本の井戸は地下何メートルくらいから掘っているんですか。

上下水道課長 井戸は11、12mくらいの浅井戸です。

男性（3） そんなに浅いんですか。それで今の町の水道水がまかなえているんですね。神戸製鋼は日に800t、イオンは日200tくらいでしたが。

上下水道課長 イオンは掘っていないです。最初は掘るという話でしたが、実際は掘っていないです。企業は200m、300m掘ってみえますので、企業と競合して取り合いになっているような層ではないです。

男性（4） 先ほどマスタープランの中で、小規模であるが住宅開発は可能であると、よく言う地区計画的なものだとおっしゃるんですが、イオンの開業やインターチェンジの開通で三和地区の生活道路の中に、通過交通を主とする自動車の量が極端に増えました。従って、町もそれに対応して、県道の交差点の路面表示やら、カーブミラーの取り替え、通学路の整備、待避所の設置、安全対策面、細かいところまでしていただいております。また、現在も県道菰野東員線の拡幅もしてもらっていますが、生活道路で急激に増えた通過交通の量を上手くさばく何か良い方法がないか、口で言うのは簡単ですが実際にはなかなか難しいとは思いますが、いろいろと検討していただきたいと思っています。

建設課長 一つ思いますのは、今イオンができてイオン前の道路がすごく混んでいるのですが、中央大橋の南詰めから、三重北農協三和支店のほうへ降りていくあたりまで、今年度から4車線化ということで、徐々に工事が進むと聞いておりますので、引き続き県には4車線化を強く要望していきたいと思っています。また、生活道路に関しても自治会と御相談させていただきながら安全対策について今後も検討していきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

男性（5） ゴルフの打ちっぱなしのところや、三岐鉄道のいなべ市と東員町の境目あたりの竹とか、木が道路にかぶさってくるようになってるんだけど切ってもらったりとかなんとかできないものですか。

建設課長 町有地であれば町で対応できるのですが、個人の所有地の場合、所有者に通知をお送りさせていただいて対応をお願いしているところでございます。

男性（6） イオンからいなべ市に向いての道を広げてもらうように、町や県にお願いをしているんですが、あの道が広がらないと立派なインターチェンジができて大きな車両が通ることができません。道が広くなれば開発ができていくのではないかと思います。

町長 三孤子川沿いの道のことだと思うんですが、あの道はあそこで事業が終了していま

す。延長していくといなべ市になるののでいなべ市とも協議が必要になります。また、建設課で試算をしてみたのですが、道路を作ろうとすると8億円かかるという試算がでました。単独ではとてもじゃないができません。神戸製鋼のある工業団地とインターチェンジを結ぶ地方道路について、国が1/2を出すメニューがあるそうですが、ハードルはとても高いです。そこで今いなべ市長と話をしていきまして、まず県に向かって、我々が予算をつけるので県も補助をつけて欲しいと頼んでいます。それで県が予算をつけてくれれば、次は国、国土交通省にいきます。そうすれば、国が半分を出してくれますので工事を行うことが可能です。ただこれはとてもハードルが高いといわれています。今いなべ市長と一緒に頑張ってはいますが、絶対にやりますとは言えない状態です。今いなべ市と折半でやろうと話しています。距離的には東員町のほうが長いですが、いなべ市のほうが利点が多いからです。実際、いなべ市の梅戸の方々などが東員町に道路を作ってくれと話にくるくらいです。いなべ市に言ってよと話しましたが、その後いなべ市から一緒にできないかと話がありましたが、いなべ市からは、今ある道路に少し対向できる場所をつくれれば安く済むのではないかという話でした。安いのは安いですが、堤防ですからそんなことはできませんので、きちんとした道路を作るのにいなべ市とも協議しながらいろいろ話し合いをしていますので、時間はかかりますが、見守っていただきたいと思います。

男性（7） 9月の定例会で、町長の答弁の中で「今後は既存の集落の活力の推進を図る」という答弁をされています。幸い今町長は当地区、三和地区の出身であるということで、町長が任期中に三和地区をなんとかしてもらいたい。議会答弁の中で、活力の推進と言われているので具体的にどのようなことを考えているのか伺います。

町長 その答弁時に二つの考えがありました。一つは先ほど言いました、限定的ですが住宅開発ができる様にしました。開発がされ住宅が建てば子どもの数も増え、若い人が増え、活力が出てくるであろう、という思いがあります。これは、地区計画という方法でやれるということで、都市計画マスタープランで上げましたので、ぜひご利用いただきたいと思います。

二つ目が、先ほど参事が説明しました農業の話で、現在長深の耕作放棄地でぶどう、ブルーベリーを育てていますが、今年ある程度結果が出てきました。ここを中心に三和地区である程度広げていきたいと思っています。アンケートでは農業はあまり推進するなという意見があったように思いますが、農業は推進します。ただしこれまでとは違い儲かる農業です。この三和地区から儲かる農業を発信していきたいと思っています。この二つでこの三和地区を活力ある地区にしていきたいと思っています。

男性（7） 三和地区は農業振興地域でがんじがらめで開発がしにくいということで、新しい産業をおこすということなら、その農業振興地域で行政に強く働き掛けてそういうものができるような施設をここで作ってもらいたい。よそに持っていかないで欲しい。農

業振興地域であろうが、農業に関係できる施設を建てられるように働きかけて欲しいと思います。

町長 その可能性は十分にあると思っておりますのでその時はご協力をお願いいたします。

・懇談による意見

1. 新しい農業について
2. 三和地区道路の渋滞、安全対策について
3. 三和地区集落の活性化について